

活動日誌 (2019年12月~2020年3月・抄)

- 12/06 本会議で一般質問 (生活困窮者自立支援事業の充実など)
- 12/18 垂水区役所ロビーで開催の神戸朝鮮高級学校 美術作品展&吹奏楽部コンサートに参加 (写真①)
- 01/01 海神社前で参拝者に年始のあいさつ (写真②)
- 01/03 東遊園地で野宿者支援の炊き出しに参加 (写真③)
- 01/13 市政相談所で市政を考える会の新年会を開催
- 01/17 神戸市役所前で開催の被災25年連帯と抗議の集いに参加しアピール
- 02/20 市役所前の敬老・福祉パス改悪反対集会に参加 (写真④)
- 02/22 市民オンブズマン兵庫総会に参加
- 02/23 神戸市会に「辺野古」請願を求めるスタート集会に参加しアピール
- 03/18 本会議で新型コロナ対策補正予算案に質疑
- 03/24 経済観光局へのスマスイ署名提出行動に参加 (累計28458筆を提出) (写真⑤)



スマスイ再整備見直しを求める署名をたくさんの方が集めていただきありがとうございました！
今後も署名集めを応援し、神戸市や新しい事業者にも市民の声を伝えてまいります。

市政相談が改善に結びつきました！

1月に発行したニュース10号を見てたくさんの方から、電話やメールの相談やニュースの感想アンケートをお寄せいただきました。ありがとうございます！

市政相談の結果、建設事務所などに働きかけて改善されたこともありますのでご紹介します。

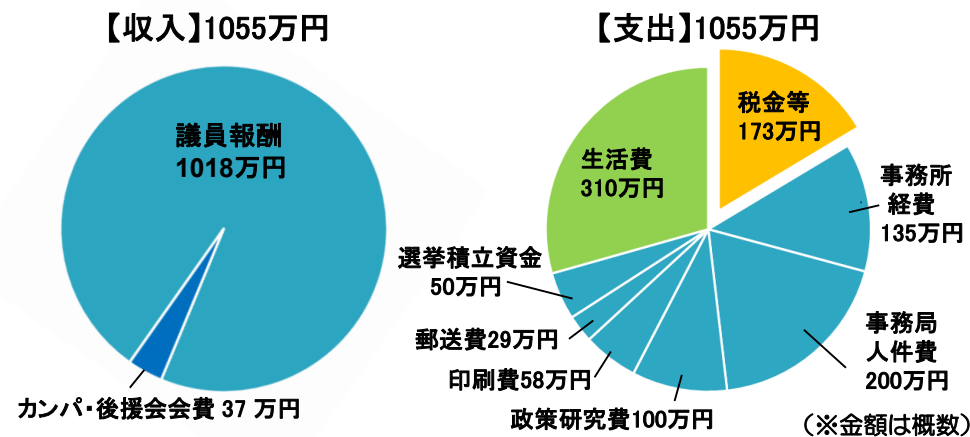


狩口台で視力障がいの方が歩道と車道の区別がつかず困っておられましたが、ラインを引いてくれました。



神和台に上る歩道は傾斜が急で上りにくいのですが、補修してくれて少し上りやすくなりました。

高橋ひでのり会計報告 (2019年6月1日~2020年3月31日)



高橋ひでのりは、神戸市から支給される政務活動費全額 (年456万円) を神戸市に返還します。しかし、会派控室のコピー代など現物で支給されている分、約30万円については返還できません。そのため同額をNPOなどに寄付します。寄付行為にならないように他府県の寄付先を募集します。

高橋ひでのり 市政相談所 (高橋ひでのりと市政を考える会 事務局)

新型コロナウイルス対策のため閉めている場合があります。市政相談は電話・メールなどでお寄せください。

受付時間: 月~金(祝日をのぞく) 11時~16時

TEL: 070-7489-6715
FAX: 078-330-3562

Mail: takahashi.tarumiku@gmail.com

〒655-0894 神戸市垂水区川原 2-1-16 谷本ビル202

URL: https://www.shiminnokaze.com



つなく神戸市議員団



高橋ひでのり

市民の風

No.11
高橋ひでのりと
市政を考える会
ニュース
2020年 初夏号

新型コロナウイルス感染症対策

(2020.4.16時点)

高橋が求めた「暮らし相談窓口」が実現！

高橋ひでのりが3月18日の本会議質疑で求めた「区役所での暮らし相談窓口の設置」が、4月8日の神戸市の対応方針で明らかになりました。「失業して家賃が払えない」「新しい仕事を探したい」「今後の生活が不安」といった場合、平日は区役所に電話して「暮らし相談窓口」に相談してください。

暮らし相談窓口 (9時~17時半)

平日 (垂水区役所) 078-708-5151 (代)

土日 (全市共通) 078-322-5302

区役所が担当する主な暮らし支援制度



制度の名前	金額 (単位は円)	対象	備考
生活保護	世帯構成できる最低生活費から収入を引いた金額	収入や資産を調べて収入が基準以下の世帯	まずはお問い合わせを
住居確保給付金	月額単身4万、人数で加算	失業やコロナ収入減で家賃払えない	家賃の3か月分 (事情によっては最大9か月分)
特別定額給付金	ひとり一律10万円	(原稿作成時点で詳細不明)	詳しくは総務省生活支援臨時給付金コールセンター 03-5638-5855へ
緊急小口資金貸付	10万か20万	コロナで休業や収入減少	返済免除の場合あり 詳しくはコールセンター 078-262-1626へ
総合支援資金貸付	月額単身15万、複数世帯20万	コロナで休業や収入減少	3か月間まで

※「生活支援臨時給付金」を「特別定額給付金」に変更しました (4.24)

これからも提言し続けます！

●休業補償で外出を減らす

4月7日から緊急事態宣言が発せられ、不要不急の外出を自粛するように求められています。しかし、休業補償がなければ自粛は進みません。感染が拡大する国では、企業の休業補償を政府が肩代わりしたり、幅広い現金支給が行われています。感染対策のためにこそ、政府や神戸市に家賃補助等の休業補償を求めます。

外国の休業補償や給付金の例 (新聞報道から作成)

国地域名	コロナで収入減の人々への休業補償や給付金
イギリス	閉鎖企業の従業員・自営業・フリーランスに所得の8割 月額33万円まで支給
ドイツ	文化アーティストで5人以下の事業主に約108万円支給、雇用保険拡充
フランス	閉鎖企業の従業員に100%所得補償、自営業・フリーランスに18万円支給
アメリカ	大人1人約13万円こども1人約5万5千円支給、雇用保険を自営業に拡大

●検査の拡充で「医療崩壊」を防ぐ

高橋ひでのりは、3月18日の本会議で①PCR検査の基準緩和②重症度に応じて感染者の入院先を振り分ける「トリアージ」医療供給体制の確立を求めました。②についてはすでに軽症者向け宿泊療養施設が整備されつつありますが、①については、いまだに改善されていません。市中感染や院内感染が広がってきている中で、東京都のように、医師会が主体となってPCR検査センターを設けて民間検査機関も活用する体制を、高橋は神戸市に提言していきます。

新型コロナ専用健康相談窓口は078-322-6250です